

対話・学びの拠点としての 動物園・水族館の可能性

(ESD推進ネットワーク北海道地域フォーラム)

2026年3月22日 日 13:30-15:30

(受付開始:13:15)

札幌市円山動物園では、2019年に策定した基本方針「ビジョン2050」に基づき、環境教育を動物園の重要な役割と位置づけ、さまざまな取組を進めてきました。その一環として、2023年度より北海道地方ESD活動支援センターと連携し、気候変動をテーマとした学びの場づくりに取り組んでいます。3年間にわたる試行を通じて、生き物と直接向き合い、その生息地で起きている環境変化を知り、生き物を守るの意味や人間の暮らしとのつながりを体感的に学べる場として、動物園が持つ力をあらためて確認することができました。

本フォーラムでは、これまでの取組を皆さまに共有するとともに、学びの拠点としての動物園や水族館の可能性、そして多様な主体が協働することで生まれる新たな価値について、専門家や企業の方々とともに考えていきます。

プログラム

<基調講演> 「気候変動・生物多様性保全と動物園・水族館の可能性」



高橋 宏之さん
日本環境教育学会 副会長

1965年生まれ。1988年3月、東京農業大学農学部畜産学科卒業。1988年4月、千葉市奉職。1999年3月、東洋大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了。修士(教育学)。2005年3月、東洋大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学。2014年～現在、日本動物園水族館教育研究会会長。2016年10月～2021年9月、International Zoo Educators Association (IZE: 国際動物園教育者協会)東南アジア・北部アジア地域理事。2025年7月～現在、日本環境教育学会副会長。

<話題提供>

1.「円山動物園における 対話・学びの取組」



佐竹 輝洋
札幌市円山動物園

2.「webアプリを使用した 動物園における気候変動教育」



安東 義乃さん
合同会社エゾリンク

3.「学び場としての動物園 への期待」



佐々木 隆介さん
北海道コカ・コーラボトリング株式会社

<登壇者意見交換・質疑応答>

会場

札幌市円山動物園 キリン館2階/
オンライン(zoom)

参加費

無料 ※別途動物園の入園料が必要です

定員

会場50名/オンライン200名

申し込み方法

こちらのQRコードより
お申し込みください
(締切 3/18)



主催

札幌市円山動物園(佐竹、工藤) TEL:011-621-1426

北海道地方ESD活動支援センター(久保田、瀬野) TEL:011-596-0921 Mail:inf@hokkaido-esdcenter.jp

後援

日本環境教育学会(申請中)